依 那 古 小 学 校 農 業 集 落 排 水 接 続 工 事

図 面 リ ス ト

図 面 番 号	図 名	図 面 番 号	図 名	図 面 番 号	図 名	図 面 番 号	図 名
Ａ－０１	建築改修特記仕様書1			Ｅ－０１	電気設備特記仕様書	Ｍ－０１	機械設備特記仕様書
Ａ－０２	建築改修特記仕様書2			Ｅ－０２	改修後　配置図	Ｍ－０２	改修前配置図
Ａ－０３	建築改修特記仕様書3			Ｅ－０３	改修後　２階平面図	Ｍ－０３	改修後配置図
Ａ－０４	建築改修特記仕様書4			Ｅ－０４	撤去・改修後　外部倉庫便所平面図	Ｍ－０４	図示記号器具表
Ａ－０５	建築改修特記仕様書5			Ｅ－０５	撤去・改修後　プール棟便所平面図	Ｍ－０５	撤去1 階平面図
Ａ－０６	案内図・配置図・仮設計画図					Ｍ－０６	改修後1 階平面図
Ａ－０７	現況・改修後　１階平面図					Ｍ－０７	排水縦断図-1
Ａ－０８	現況・改修後　２階平面図					Ｍ－０８	排水縦断図-2
Ａ－０９	現況・改修後　３階平面図					Ｍ－０９	排水縦断図-3
Ａ－１０	現況・改修後　倉庫内便所 プール棟便所　平面図 体育館便所					Ｍ－１０	撤去・改修後　１階平面図
Ａ－１１	建具表-1					Ｍ－１１	撤去・改修後　２階平面図
Ａ－１２	建具表-2					Ｍ－１２	撤去・改修後　３階平面図
						Ｍ－１３	撤去・改修後　プール棟便所平面図
						Ｍ－１４	体育館便所平面図
						Ｍ－１５	撤去・改修後　倉庫内便所平面図

改 修 工 事 特 記 仕 様 書 （ 改 修 ）

Ⅰ．工事名称　　依那古小学校農業集落排水接続工事

Ⅱ．工事概要

1　工事場所　　三重県伊賀市沖　地内

2　敷地面積　　13518m²

3　工事内容

棟名称	
構造	校舎：鉄筋コンクリート造、屋内運動場：鉄骨造
建築面積	
延べ面積	校舎：2383m², 屋内運動場：563m², その他：141m²
工事項目	

Ⅲ．建築改修工事仕様

1　共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「三重県公共工事共通仕様書」及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）」（以下「改標仕」という。）による。

2　特記仕様

⑴　項目は、番号に〇印の付いたものを適用する。

⑵　特記事項は、〇印の付いたものを適用する。

⑶　項目欄に記載の（　）内表示番号は改標仕の該当項目等を示す。

章	項目	特記事項

1 一般共通事項

① 適用基準等

① 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）　公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）
国土交通大臣官房官庁営繕部監修（平成28年版）

② 建築工事標準詳細図
国土交通大臣官房官庁営繕部監修（平成28年版）

② 施工条件（1.3.5）

⊙監督員と協議し決定する。
施工可能日　・　指定なし
・　一部に土、日曜日、祝祭日施工あり
施工可能時間帯　・　指定なし　・　　時　～　　時
既成工期　・　指定なし　・　　年　　月　　日
・工事着手は住民説明会開催（請負者も出席のこと）後とする。

3 部分引渡し、部分使用

・部分引き渡しあり　　・部分使用あり
指定部分（　　　　　　　　）
時期（　平成　　年　　月　　日～　）

4 埋蔵文化財調査

埋蔵文化財の調査が行われる場合は協力すること。
・発掘調査等の実施あり
・発見された場合、発掘調査等の実施あり

⑤ 発生材の処理等（1.3.8）

・本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。
工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。

分別解体等の方法

工程	作業の有無	分別解体等の方法
造成等	・ 有　・ 無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
基礎・基礎ぐい	・ 有　・ 無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
上部構造部分・外装	・ 有　・ 無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
屋根	・ 有　・ 無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
建築設備・内装等	⊙ 有　・ 無	⊙手作業 ・手作業、機械作業の併用
その他（備品等）	⊙ 有　・ 無	⊙手作業 ・手作業、機械作業の併用

・　引き渡しを要するもの
・なし　・ 金属類　・ＰＣＢ（含有機器・シーリング）
・　特別管理産業廃棄物　・　有（　　　　　）
処理方法（　　　　　　）
・　現場において再利用を図るもの
（　　　　　　　　　　）
⊙　再資源化を図るもの
⊙　アスファルトコンクリート塊
⊙　セメントコンクリート塊
⊙　建設発生木材
⊙　引渡を要するもの、再資源化を図るものについては調書を作成し、監督員へ提出すること。
⊙　引渡を要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員に報告すること。その他関係法令によるほか、（マニフェストA、B2、D、E票を提示すること。）

⑥ 建設副産物情報交換システムの利用

再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合は、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書（実施書）」及び「再生資源利用促進計画書（実施書）」を監督員に提出すること。
また、工事着手前にはJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータを入力し、工事完了時には実績報告を行うこと。

⑦ 三重県産業廃棄物税

本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の４月１日から８月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。
なお、この期間を超えて請求することはできない。
また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。

8 電気保安技術者（1.3.3）

適用する

⑨ 技能士（1.6.2）

職種別に可能なものについては、積極的に活用すること。

⑩ 施工数量調査（1.5.2）

調査範囲及び調査方法　⊙工種別の特記による

11 調査のための破壊部分の補修（1.5.3）

補修方法　・　図示（図面番号：　　　）　・（　　　　）

⑫ 建築材料等

1）本工事に使用する建築材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とするほか「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿」（最新版）（以下「評価名簿」という。）と同等とする。品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努めること。
2）本工事で使用する建設資材の調達にあたっては、極力県内の取り扱い業者から購入するよう努めること。
3）製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、三重県「環境物品等の調達方針」に従い、あらかじめ「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」に準拠した証明書を、監督員に提出すること。
4）本工事に使用する木材は、品質が求められる水準以上であれば、「三重の木」利用推進協議会が認証する「三重の木」やあかね材認証機構が認証する「あかね材」の優先利用に努めること。
5）本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。
6）下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用する。
ただし認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議を行うこと。
（認定製品の品名：　　　　　　　　）
7）下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するように努める。
（認定製品の品名：　・間伐材製工事用バリケード・看板・掲示板・ガードフェンス・石こうボード　・　　　　　）

13 化学物質の濃度測定（1.6.9）

測定対象化学物質（●で示したものとする。）

適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン
	学校, 教育施設	●	●	●	●	●	●
	住宅	●	●	●	●	●	
〇	その他	●	●	●	●	●	

測定対象室及び測定個所数
・図示（図面番号：Ａ－６）
測定方法（・パッシブ法　・　アクティブ法）
報告書提出部数　２部

14 特別な材料の工法

公共建築改修工事標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。

⑮ 騒音・振動の防止

低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。

⑯ 工事写真

営繕工事写真撮影要領(国土交通省大臣官房官庁営繕部（平成28年版))に従い撮影する。

⑰ 完成図（1.8.2）

作成する（⊙　完成図　・　保全に関する資料　・（　　　））
完成図作図範囲
（配置図、平面図、立面図、断面図、仕上表等　）
完成図はＣＡＤにより作成することとし、著作権にかかる使用権は発注者に移譲するものとする。

⑱ 完成写真

デジタルカメラで撮影し、全てＬ版相当サイズで印刷する。（Ａ４版用紙に１ページあたり３枚）　１部
⊙　アルバム　１部
（大きさ335mm×290mm程度、カラー）

⑲ 電子納品

工事写真は、「営繕工事に係る電子納品マニュアル（デジタル工事写真編）」等に基づき電子媒体も提出すること。
（提出部数　⊙　２部　・　　部）
工事完成図書は、「営繕工事に係る電子納品マニュアル（工事完成図書編）」に基づき電子媒体も提出すること。
（提出部数　⊙　２部　・　　部）

⑳ 設備工事との取合い

施工範囲
⊙　図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の補強
・　図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強
・　自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強
・　駆動装置が電動による建具等の２次側の配管・配線及び　操作スイッチ
施工図
⊙　設備機器の位置、取合いなどの検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。

㉑ 既存部分への処置（1.3.12）

工事施工に際し、在来部分を汚損した場合又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、在来にならい補修する。

㉒ 事故報告

工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故発生報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出すること。
また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。

23 県内企業優先

本工事において、下請け契約を締結する場合には、当該契約相手方は三重県内に本店（建設業法において規定する主たる営業所を含む）を有する者の中から選定するよう努めること。

24 総合評価方式

本件工事で提案不履行があった場合は、本件工事完成年度の翌年度に総合評価方式で発注する案件（以下「発注工事」という。）で、貴社の評価点において発注工事の加算点（満点）の１割を減点します。

㉕ 不当介入を受けた場合の措置

暴力団員等による不当介入（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第２条第１項第１０号）を受けた場合の措置について
(1)受注者は暴力団員等（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第２条第１項第８号）による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。
(2)(1)により警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。
発注者への報告は文書で行うこと。
(3)受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。

26 消防提出書類

消火器の設置届については、電気及び機械設備にて設置届が不要な場合は、建築にて設置届を提出するものとする。
防火対象物使用開始届については書類の作成（建築図面の用意及び建築に関する部分の記述）を行うこと。

㉗ 主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間

現場施工に着手するまでの期間
請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督員との打合せにおいて定める。
検査終了後の期間
検査完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。

㉘ 工事の一時中止に係る計画の作成

契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画（以下「基本計画書」という。）を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。
なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。
工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。

㉙ 労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置

労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第２項の規定に基づき、本工事の請負者を指名する。
この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。

30 建築基準法に基づき定まる風圧及び積雪荷重

建築基準法に基づき定められた区分等
基準風速Vo=３４m/s
地表面粗度区分　（　・Ⅱ　・Ⅲ　）
積雪区分（４０）ｃｍ

㉛ 火災保険等

伊賀市建設工事請負契約書５２条第1項の規定により, 火災保険、建設工事保険又はその他の保険等に加入し、その加入証券等を提示しなければならない。
（１）保険の目的物　　工事目的物及び工事材料（支給材料を含む）
（２）保険の加入期間　工事着手後速やかに加入し、完成引き渡しまでの間
（３）保険金額　　　　原則として請負金額に相当する金額

㉜ 不正軽油の使用の禁止

1）一般事項
工事の施工にあたり、工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。
2）調査の協力
受注者は、使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。
3）是正措置
受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。

② 仮設工事

① 足場（2.2.1）（表2.2.1）

内部足場　⊙脚立　・足場板　・（　　　）
外部足場の種別　・　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種・　Ｄ種・　Ｅ種
防護シート等による養生　・　適用する　・　適用しない

② 既存部分の養生（2.3.1）

既存部分の養生方法　・図示（図面番号：　　　　　）
既存ブラインド・カーテンの養生
養生方法（　　　　　　　　　　）
保管場所　・　構内既存施設内
固定された備品、机、ロッカーの移動
⊙　行う　・　行わない

3 仮設間仕切り（2.3.2）（表2.3.1）

・　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種
合板　厚さ　・9mm　・（　　）
せっこうボード　厚さ　・9.5mm
合板又は石こうボードの塗装　・　行う　・　行わない
仮設扉の設置箇所　・図示（図面番号：　　　）
仮設扉の種別　（　・A種　・B種　・C種　）

4 監督員事務所（2.4.1）

・　構内建物内の一部を使用する。
・　設置する　・　設置しない
監督員事務所の規模（単位：㎡）
面積　・　10㎡程度　・　20㎡程度　・　35㎡程度
・　65㎡程度　・　100㎡程度
監督員事務所の仕上げ

部位等	仕上げ
床	合板張り又はビニール床シート張り
内壁・天井	合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り
屋根	装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り

5 監督員事務所の備品等（2.4.1）(b)

種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計
数量	組	台	個	個	個
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー
数量	足	着	個	個	台
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話 FAX	冷暖房機器	インターネット
数量	個	個	台	台	台

⑥ 仮設便所

構内既存の施設
・　利用できる　⊙　利用できない

⑦ 工事用水

構内既存の施設
⊙　利用できる（⊙　有償　・　無償）　・　利用できない

⑧ 工事用電力

構内既存の施設
⊙　利用できる（⊙　有償　・　無償）　・　利用できない
有償利用の場合において、本工事で新規受電又は既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は、本工事に含まれる。

⑨ 交通誘導員

配置　延べ人数：４人／工事期間

③ 防水改修工事

1 アスファルト防水（3.1.4）（3.3.3）（表3.3.3）～（表3.3.10）

工法	種別	施工箇所
・ P1B	・ B-1　・ B-2	
・ P1E ・ P2E	・ E-1　・ E-2	

改質アスファルトルーフィングシート
種類　・（　　）　・(表3.3.3)～(表3.3.9)による
厚さ　・（　　）　・(表3.3.3)～(表3.3.9)による
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート
種類　・（　　）　・(表3.3.3)～(表3.3.9)による
厚さ　・（　　）　・(表3.3.3)～(表3.3.9)による

(3.3.2)(h)
断熱工法の断熱材（P1BI, P2AI, T1BI, P0DI, M3DI, M4DI）
材質　・（　）
・Ａ種押出法ポリスチレンフォーム保温材の保温板３種b(スキンあり)
・Ａ種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板２種１号
・Ａ種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板２種２号
厚さ　・（　　）
ルーフドレン回り及び立上がり部周辺断熱材の張りじまい位置　・図示（図面番号：　）

(3.3.3)(b)(2)　(3.3.3)(C)
脱気装置（M3D, P0D, P0DI, M3DI, M4DI）
・　設ける（設置数量　・図示（図面番号：　）、材質（　））
・　設けない

SUBJECT:	TITLE:	SCALE:	DATE:	DRAWING
依那古小学校 農業集落排水接続工事	特記仕様書　1	A2：NS		Ａ－０１

・仕上塗料　種類（　　）　使用量（　　）

(3.3.5) 保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ　・水下80mm以上　・（　　）
床タイル張り・水下60mm以上　・（　　）
保護層　・　設ける　・　設けない
屋上排水溝の適用　・適用する
立上り保護　・乾式保護材（　　）
・れんが（材種　・ＪＩＳ　R1250）

2 改質アスファルトシート防水
(3.4.3)
(表3.4.1)～(表3.4.3)
(3.4.3)(2)(3)

工法	種別	施工箇所
・ M4AS	・ AS-T1　・ AS-T2 ・ AS-J3	

改質アスファルトシート
種類　・（　　）　・(表3.4.1)～(表3.4.3)による
厚さ　・（　　）　・(表3.4.1)～(表3.4.3)による

粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート
種類　・（　　）　・(表3.4.1)～(表3.4.3)による
厚さ　・（　　）　・(表3.4.1)～(表3.4.3)による

断熱工法の断熱材（M3ASI,M4ASI,P0ASI）
材質　・（　）
・Ａ種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板２種１号
・Ａ種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板２種２号
厚さ　・（　　）
脱気装置
・　設ける（設置数量　・図示（図面番号：　）、材質（　））
・　設けない

3 合成高分子系ルーフィングシート防水
(3.5.3)
(表3.5.1)
(表3.5.2)
(3.5.2)(b)
(3.5.3)

工法	種別	施工箇所
・ S3S ・ S3SI	・ S-F1(SI-F1) ・ S-F2(SI-F2)	

ルーフィングシート
種類　・（　　）　・(表3.5.1)及び(表3.5.2)による
厚さ　・（　　）　・(表3.5.1)及び(表3.5.2)による

断熱工法の断熱材（P0SI,S4SI,S3SI,M4SI）
材質　・（　）
・Ａ種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板２種１号
・Ａ種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板２種２号
・Ａ種押出法ポリスチレンフォーム保温材の保温板
・Ａ種押出法ポリスチレンフォーム保温材の密度及び熱伝導率の規格に適合するもの
厚さ　・（　　）

絶縁用シート　・　発泡ポリエチレンシート
脱気装置
・　設ける（設置数量　・図示（図面番号：　）、材質（　））
・　設けない

既存防水層下地がPCコンクリート部材の場合
目地処理　・図示（図面番号：　　）
増張り　・図示（図面番号：　　）

4 塗膜防水
(3.6.3)
(表3.6.1)
(3.6.3)(a)
(3.6.3)(b)

工法	種別	施工箇所
・ P0X ・ L4X	・ X-1　・ X-2	

脱気装置
・　設ける（設置数量　・図示（図面番号：　）、材質（　））
・　設けない

5 既存防水層表面の仕上塗装の除去
(3.2.6)(c)(2)
(3.2.6)(c)(6)

(M4AS,M4ASI,M4C,M4DI)　・　行う　・　行わない

(L4X)　・　行う　・　行わない

6 ＦＲＰ防水　・ＦＲＰ防水

⑦ シーリング
(3.7.2)
(表3.7.1)

材料

種類	材種	施工箇所
・ SR-1	シリコーン系	
・ SR-2	シリコーン系	
・ MS-2	変成シリコーン系	
⊙ PS-2	ポリサルファイド系	建具周囲
・ PU-2	ポリウレタン系	

(3.7.4～7) 工法
⊙ シーリング充填工法
・ シーリング再充填工法
・ 拡幅シーリング再充填工法
（拡幅幅　mm、拡幅深さ　mm）
・ ブリッジ工法
（ボンドブレーカー幅　mm、エッジング材幅　mm）

(3.7.8) シーリング材の試験
⊙ 簡易接着性試験　・　引張接着性試験　・　行わない

8 とい
(3.8.2)(表3.8.1)
材種　・硬質ポリ塩化ビニル管（ｶﾗｰ）　・　配管用鋼管(白管)
・
工法　・図示（図面番号：　　）

9 アルミニウム製笠木
(3.9.2)(c)
(表3.9.1)
部材の種類
・　押出し200形（アルミ製手摺付）
・　押出し300形
・　押出し350形
(3.9.3)(b)
・　板材折曲げ形（本体幅　mm、板厚　・　2.0mm）
固定金具の間隔　mm　・図示
固定方法　・図示

(3.9.2)(d)
(表5.2.2)
表面処理　・Ａ－１　・Ｂ－１
工法　既存笠木等の撤去
・図示（図面番号：　　）
下地補修の工法
・図示（図面番号：　　）
板材折り曲げ形の笠木の取付方法
・図示（図面番号：　　）
笠木固定金具の工法
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応したか固定金具の間隔固定方法等は施工計画書として提出する。

4 外壁改修工事

1 施工数量調査
・　行う　・　行わない
調査範囲　・　全面　・（　　）
調査項目　・　ひび割れ部
（・　幅0.2mm、・　0.2mm～1.0 mm、・　1.0mm以上）
・　はがれ及びはく落部分
・　浮き部
調査方法　・　打診、目視及びクラックスケール等
（・　足場　・　ゴンドラ）
報告書　２部
（立面図等に記載、必要に応じて写真添付）

2 改修工法の種類
(4.1.4)
(4.1.5)

外壁	種類	改修工法
・ コンリート打放し仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Ｕカットシール材充填工法 ・ シール工法
	欠損部	・ 充填工法
・ モルタル塗り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Ｕカットシール材充填工法 ・ シール工法
	欠損部	・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法
	浮き部	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法

外壁	種類	改修工法
・ タイル張り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Ｕカットシール材充填工法
	欠損部	・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法
	浮き部	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法
	目地	・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮目地改修工法
・ 塗り仕上げ外壁	新規仕上げ	・ 薄付け仕上塗材塗り ・ 厚付け仕上塗材塗り ・ 複層仕上塗材塗り ・ 可とう形改修用仕上塗材塗り ・ 各種塗料塗り ・ マスチック塗材塗り

3 改修工法等
(4.2.2)(a)
(4.3.4)
(4.4.5)
(4.5.5)
・　樹脂注入工法
種類　・　自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
注入量（メーカー仕様による）注入間隔（200～300）
・　手動式エポキシ樹脂注入工法
注入量（　　）注入口間隔（　　）
・　機械式エポキシ樹脂注入工法
注入量（　　）注入口間隔（　　）
材料
エポキシ樹脂JIS A6024(建築補修用注入エポキシ樹脂)
・　低粘度形　・　中粘度形
コア抜取検査　・　行う　・　行わない
・抜取り個数（　　）
・抜取り部分補修方法（　　）

(4.2.2)(b)
(4.3.5)
(4.4.6)
(4.5.6)
・　Ｕカットシール材充填工法
材料　・　シーリング用材充填
（　ⓞＰＵ－２　・（　　））
・　可とう性エポキシ樹脂充填
シーリング材の上にポリマーセメントモルタル充填
・　行う　・　行わない

(4.2.2)(c)
(4.3.6)
(4.4.7)
・　シール工法
材料　・　パテ状エポキシ樹脂
・　可とう性エポキシ樹脂

(4.2.2)(d)
(4.3.7)
(4.4.8)
・　充填工法
材料　・　エポキシ樹脂モルタル
・　ポリマーセメントモルタル

(4.2.2)(g)
(4.5.8)
・ モルタル塗替え工法
材料　・既製目地材の適用及び形状（　　）
仕上げ厚　（　　）

(4.2.2)(e)
(4.4.10)
(図4.4.1)
・　アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
アンカーピンの配置　・　標準
材料　・アンカーピン（ＳＵＳ）

(4.2.2)(e)
(4.4.11)
(図4.4.2)
・　アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法
アンカーピン及び注入口の配置　・　標準
材料　・アンカーピン（　　）

(4.2.2)(e)
(4.4.12)
(図4.4.2)
・　アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法
アンカーピン及び注入口の配置　・　標準
材料　・アンカーピン（　　）

(4.2.2)(f)
(4.4.13)
(図4.4.3)
・　注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
注入口付アンカーピンの配置　・　標準
材料　・注入口付アンカーピン（　　）

(4.2.2)(f)
(4.4.14)
(図4.4.4)
・　注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法
注入口付アンカーピン及び注入口の配置
・　標準
材料　・注入口付アンカーピン（　　）

(4.2.2)(f)
(4.4.15)
(図4.4.4)
・　注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法
注入口付アンカーピン及び注入口の配置
・　標準　・（　　）
材料　・ポリマーセメントスラリー（　　）
・注入口付アンカーピン（　　）

(4.2.2)(h)
(4.5.7)
・　タイル部分張替え工法
材料　・　ポリマーセメントモルタル
・　変成シリコーン樹脂、エポキシ樹脂、ポリウレタン樹脂

施工箇所	形状寸法	工法	区分			うわぐすり	役物	耐薬品性	特注色	耐凍害性有無
			Ⅰ類(磁器)	Ⅱ類(せっ器)	Ⅲ類(陶器)					

・役物（・一体成形　・接着加工）
・試験張り　・　行う　・　行わない
・見本焼き　・　行う　・　行わない

(4.2.2)(h)
(4.5.8)
(表4.5.3)
・　タイル張替え工法

タイルの種別	タイルの大きさ	工法	塗り厚(mm)
・ 外装　タイル	小口以上二丁掛け以下	・密着張り	5～8
		・改良積み上げ張り	4～7
		・改良圧着張り	下地側 4～6 タイル側 3～4
・ ユニットタイル	・ 25mm角を超え小口未満	・マスク張り	3～4
	・ 小口未満	・モザイクタイル貼り	3～5

(4.5.15)
・注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法
注入口付アンカーピンの配置　（　　本／㎡）
(4.2.2)(h)
(4.5.16)
・　目地ひび割れ部改修工法
・　伸縮調整目地改修工法
伸縮調整目地
（位置　　寸法　　×　　）
検査　シーリング接着性試験
・　行う（・　簡易接着性試験　・　行わない）

4 塗り仕上げ
(4.2.2(j))
(表4.2.4(その1)(その2))

種　類	呼び名	仕上げ形状	工法
薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材Ｅ	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け
		・平たん状 ・凸凹状	こて
		・ゆず肌状 ・さざ波状	ローラー
		・着色骨材砂壁状	・吹き付け ・こて

種　類		仕上げ形状		工法
厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材Ｃ	スタッコ状	・ 吹放し ・ 凸部処理	吹付け
			・ 平たん状 ・ 凸凹状 ・ ひき起し ・ 掻き落とし	こて
	・ 外装厚塗材Si ・ 外装厚塗材Ｅ	スタッコ状	・ 吹き放し ・ 凸部処理	吹付け
			・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起し	・こて ・ローラー

SUBJECT:	TITLE:	SCALE:	DATE:	DRAWING
依那古小学校 農業集落排水接続工事	特記仕様書　2	A2：NS		A－０２

種　類	呼び名	仕上げ形状	工法
複層仕上塗材	・複層塗材Ｅ ・複層塗材ＲＥ ・防水形複層塗材Ｅ ・防水形複層塗材RE	・ゆず肌状	ローラー
		・凸部処理	吹付け
		・凸凹模様	吹付け
可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材Ｅ ・可とう形改修塗材ＲＥ ・可とう形改修塗材ＣＥ	・平たん状 ・さざ波状	ローラー
		・ゆず肌状	吹付け

・外装厚塗Cの上塗材がセメントスタッコ以外の場合
材所要量（　　ｋｇ／㎡）

(4.6.6)
(表4.6.7)
・マスチック塗材塗り　・Ａ種　・Ｂ種
仕上材塗り（　　）

(表4.2.5)
複層仕上塗材の上塗材の種類

樹脂種類	溶媒種類	外　　観
・アアクリル系	・溶剤系	・艶有　・艶無　・メタリック
	・弱溶剤系	・艶有　・艶無
	・水　系	・艶有　・艶無
・シリカ系	・水　系	・艶無
・ポリウレタン系	・溶剤系	・艶有　・艶無　・メタリック
	・弱溶剤系	・艶有　・艶無
	・水　系	・艶有　・艶無
・アクリルシリコン系	・溶剤系	・艶有　・艶無　・メタリック
	・弱溶剤系	・艶有　・艶無
	・水　系	・艶有　・艶無
・ふっ素系	・溶剤系	・艶有　・艶無　・メタリック
	・弱溶剤系	・艶有　・艶無
	・水　系	・艶有　・艶無

（注）　つやなし及びメタリックは、可とう形複層塗材、防水形複層塗材、及び可とう形改修塗材には適用しない。

(4.6.3)
既存塗膜等の除去及び下地処理

工法	処理範囲
・サンダー工法	
・高圧水洗工法	
・塗膜剥離剤工法	
・水洗い工法 ・デッキブラシ ・高圧ポンプ	10～15Mpa 外壁・外部モルタル巾木・屋根庇・バルコニー見付 軒天（バルコニー・階段・庇）ベランダ床面・排水溝立上り・階段床

(4.6.4)
下地調整
・ C-1　・ C-2　・ CM-2　・ E　・（　　）

⑤ 建具改修工事

① 改修工法
(5.1.3)
・　かぶせ工法
・　カバー工法　・　持出し工法　・　ノンシール工法

⊙ 撤去工法
・　はつり工法　・　引抜き工法

2　防火戸
(5.1.4)
・例示仕様　　・個別認定（認定番号　　）
・自動閉鎖機構　・図示（図面番号：　　）

③ 見本の製作
(5.1.5)
・　製作する　⊙　製作しない

4　防犯建物部品
(5.1.7)
・図示（図面番号：　　）

5 ブラインドカーテンボックス等
(5.1.6(c))
・　再使用する　・　再使用しない

⑥ アルミニウム製建具
(5.2.2)
(表5.2.1)
性能等級等
・　A種　⊙　B種　・　C種

・　防音ドアセット、防音サッシ（等級　　）
・　断熱ドアセット（等級　　）
・　耐震ドアセット（等級　　）
・　結露水の処理方法　・図示（図面番号：　　）

(表5.2.2)
アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種別
・　外部に面する建具
　・　B-1　・　B-2　・（　　）
・　内部に面する建具
　・　C-1　・　C-2　・（　　）

7　網戸
(5.2.3)(e)
・　可動式　・　固定式
防虫網の材質
・　合成樹脂製　・　ガラス繊維入り合成樹脂製
・　ステンレス(SUS316)製
網目
・16メッシュ　・　18メッシュ

8　樹脂製建具
(5.3.2)(表5.3.1)
(表5.3.2)(表5.3.3)
(5.3.3)(5.3.4)
(5.3.5)
性能等級等
・　Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種

・　防音ドアセット、防音サッシ（等級　　）
・　断熱ドアセット（等級　　）
ガラス　・　複層ガラス　・（　　）
建具枠見込寸法　・図示　（図面番号：　　）
水切り　・図示　（図面番号：　　）
ぜん板　・図示　（図面番号：　　）
丁番　・(表5.7.3)による　・　図示（図面番号：　　）

⑨ 鋼製建具
鋼製建具の性能等級
・　簡易気密性ドアセット
⊙　外部に面する建具の耐風圧
　・　S-4　・　S-5　・　S-6
・　防音ドアセット、防音サッシ（等級　　）
・　断熱ドアセット（等級　　）
・　耐震ドアセット（等級　　）
・　めっき付着量　JIS G 3302　・　Z12　・　F12　・（　）
　　JIS G 3317　・　Y08　・（　）
・　H>2400又はW>950の建具
　鋼板類の厚さ　・　図示（図面番号：　　）

10　鋼製軽量建具
(5.5.2)
(5.5.5)
(5.2.2)(b)
(5.5.3)
(5.5.4)
(5.7.3)(a)
(5.2.3)(a)
鋼製軽量建具の性能等級
・　簡易気密性ドアセット
・　外部に面する建具の耐風圧
　・　S-4　・　S-5　・　S-6
・　防音ドアセット、防音サッシ（等級　　）
・　断熱ドアセット（等級　　）
・　耐震ドアセット（等級　　）
・　H>2400又はW>950の建具
　鋼板類の厚さ　・　図示（図面番号：　　）
表面仕上げ
・　塗装
・　ビニル被覆鋼板
・　カラー鋼板
・　ステンレス鋼板（・　HL　・　鏡面）

11　ステンレス製建具
(5.6.2)
(5.4.2)
ステンレス製建具の性能等級
・　簡易気密性ドアセット
・　外部に面する建具の耐風圧
　・　S-4　・　S-5　・　S-6
・　防音ドアセット、防音サッシ（等級　　）
・　断熱ドアセット（等級　　）
・　耐震ドアセット（等級　　）

(5.6.3)
材料　　・SUS304　　・（　　）

(5.6.4)
表面仕上げ　・HL仕上げ　　・（　　）

(5.6.5)
曲げ加工　・　普通曲げ　・　角出し曲げ

⑫ 建具用金物
(5.7.2)
金物の見え掛かり部等の材質等
・　(表5.7.1)による
⊙　図示（図面番号：Ａ－11～12　　）

(5.7.4)
マスターキー　・　製作する　⊙　製作しない
引渡用鍵箱　・　必要　⊙　不要

13　自動ﾄﾞｱ開閉装置
(5.8.2)
開閉装置の性能値

(5.8.3)
(表5.8.3)
センサの種類

(5.8.3)(f)
凍結防止措置　・　あり　・　なし

14　自閉式上吊り引戸装置
(5.9.3)
自閉式上吊り引戸装置の性能値
・　(表5.9.1)による　・（　　）

15　重量シャッター
(5.10.2)
種類
・　一般重量シャッター　・　外壁用防火シャッター
・　屋内用防火シャッター　・　防煙シャッター
耐風圧強度　（　　Pa以上）
開閉機能
・　上部電動式（手動併用）　・　上部手動式

(5.10.2)(c)
(表5.10.1)
(5.10.2)(f)
一般重量シャッターのシャッターケース
・設ける　・設けない
・設ける　・設けない
・　めっき付着量　・　Z12　・　F12　・（　）

16　軽量シャッター
(5.11.2)
(表5.11.1)
開閉形式
・　上部電動式（手動併用）　・　手動式

耐風圧強度　（　　Pa以上）
スラットの材質及び形状
・　インターロッキング形　・　オーバーラッピング形
・　めっき付着量　JIS G 3312　・　Z06　・　F06　・（　）
　　JIS G 3322　・　AZ90　・（　）

17　オーバーヘッドドア
(5.12.2)
(5.12.3)
型式及び機構
セクション材料
・　スチールタイプ　・　アルミニウムタイプ
・　ファイバーグラスタイプ

耐風圧強度　（　　Pa以上）

開閉方式
・　バランス式　・　チェーン式　・　電動式

収納形式
・　スタンダード形　・　ローヘッド形
・　ハイリフト形　・　バーチカル形

ガイドレール
・　溶融亜鉛めっき鋼板　・　ステンレス鋼板

⑱ ガラス材料、工法
(5.13.2)(a)
(5.13.4)
板ガラス
⊙図示（図面番号：Ａ－11～12　　）

⑲ ガラス留め材
(5.13.2)(b)
ガラス留め材
⊙シーリング　・ガスケット（　　）

⑳ ガラス溝の寸法、形状等
(5.13.3)
・図示（図面番号：　　）
⊙（表5.13.1）　による

21　ガラスブロック積み
(5.13.5)
ガラスブロック
表面形状、寸法、厚さ　・　図示（図面番号：　　）
金属枠、補強材　・　図示（図面番号：　　）
化粧カバー　・　図示（図面番号：　　）
工法
・　図示（図面番号：　　）
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施行計画書として提出する

⑥ 内装改修工事

① 一般事項
(6.1.3)(b)
既存間仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲

改修部分	改　修　範　囲
⊙　天井	・図示
・　壁	・図示
⊙　床	・図示

(6.1.3)(c)
天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲
・　図示（図面番号：　　）　・（　　）

(6.1.3)(f)
天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修
・　図示（図面番号：　　）　・（　　）

② 既存床撤去、下地補修
(6.2.2)(a)(1)
(6.2.2)(a)(2)
(6.2.2)(c)
既存床仕上げ材の除去等
浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去
⊙　下地調整　・　行わない

合成樹脂塗り床材の除去等
・　機械的除去工法　・　目荒し工法

改修後の床の清掃範囲
・　施工範囲及び施工によって汚れが生じた範囲
・（　　）

3　既存壁撤去、下地補修
(6.3.2)
既存間仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法
・　（　ポリマーセメントモルタル　　）

4　木下地等
(6.5.1)(c)
(表6.5.1)
(6.5.2)(a)(1)
(表6.5.2)
表面仕上げ　・　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種　・Ｄ種

木材の含水率（工事現場搬入時、質量比）

部材名称	種　別
下地材	・Ａ種　・　Ｂ種
造作材	・Ａ種　・　Ｂ種

(6.5.2)(b)(1)
製材
「製材の日本農林規格」による製材

部位	樹種・寸法・形状	等級	含水率
下地用針葉樹製材	・図示（図面番号：　　）	・（　　）	
造作用針葉樹製材	・図示（図面番号：　　）	・（　　）	
広葉樹製材	・図示（図面番号：　　）	・（　　）	

(6.5.2)(b)(2)
(ⅳ)
(表6.5.3)
「製材の日本農林規格」以外の製材
樹種　寸法　防虫処理、難燃処理及び含水率　・図示（図面番号：　　）
造作材の材面の品質　・　A種　・（　）

樹種

部位	樹種	県産材

(6.5.2)(b)(2)(ⅳ)
代用樹種の使用　・禁止する　・禁止しない

(6.5.2)(c)(i)
(6.5.2)(b)(ⅱ)
造作用集成材
「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

部位	樹種・寸法	見付け材面の等級	厚さ
造作用集成材	・図示（図面番号：　　）	・（　　）	
化粧ばり造作用集成材	・図示（図面番号：　　）	・（　　）	
化粧ばり構造用造作用集成材	・図示（図面番号：　　）		

SUBJECT:	TITLE:	SCALE:	DATE:	DRAWING
依那古小学校 農業集落排水接続工事	特記仕様書　3	A2：NS		A－03

(6.5.2)(c)(ⅱ) 「集成材の日本農林規格」以外の製材
樹種 寸法 見付け材面の品質及び厚さ ・ 図示（図面番号： ）
含水率 ・１５%以下 ・（ ）

(6.5.2)(d)(ⅰ) 造作用単板積層材
「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

部位	厚 さ	表面の品質	防虫処理
造作用単板積層材	・ 図示 （図面番号： ）	・（ ）	

(6.5.2)(d)(ⅱ) 「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材
厚さ 表面の品質 防虫処理 ・ 図示（図面番号： ）
含水率 ・１４%以下 ・（ ）

(6.5.2)(e) ・ 床張り用合板等

部材名称	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚さ
ラワン合板		１類	２級	Ｃ－Ｄ	Ｆ４	9,12,15

(6.5.5)(a) ・ 防腐、防蟻処理
適用部位 図示（図面番号 ）
保存処理性能区分（ ）
薬剤の塗布等の処理方法（ ）
ボード原料接着剤への防腐・防蟻処理（ ）

(6.5.5)(b) ・ 防蟻処理
・図示（図面番号 ）

5 軽量鉄骨天井下地
(6.6.2) 野縁等の種類
(表6.6.1) ・ 屋内 ・ 19形 ・（ ）
(6.6.3) ・ 屋外 ・ 25形 ・（ ）

形式及び寸法
・ 屋外 ・ 図示（図面番号： ）
・ 耐震天井 ・ 図示（図面番号： ）
・ ふところ≦1.5m ・(6.6.4)(h)
・ ふところ＞3m ・ 図示（図面番号： ）

既存埋込みインサート
・ 使用する ・ 使用しない
既存埋め込みインサート、あと施工アンカーの引き抜き試験
(6.6.4) ・行う（図示（図面番号： ） ・ 行わない
耐震天井
・図示（図面番号： ）

6 軽量鉄骨壁下地 スタッド、ランナーなどの種類
(6.7.2)
(6.6.4)(a)(1)

7 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り
(6.8.2) 材料
(6.8.2)(a) ・ ビニル床シート 【JIS A 5705（ビニル系床材）】
(6.8.2)(b)

種類の記号	色 柄	厚 さ	備考
ＦＳ	マーブル	2.0mm	

・ ビニル床タイル 【JIS A 5705（ビニル系床材）】

種 類	厚 さ	備 考
半硬質ビニル床タイル	2.0mm	

(6.8.2)(c)(1) ・ 帯電防止床シート、床タイル

種 類	性 能	厚 さ	備考

(6.8.2)(c)(2) ・ 視覚障害者用床タイル

種 類	形 状	備 考
ビニル床タイル	300×300×7.0mm	

(6.8.2)(c)(3) ・ 耐動荷重性床シート

種 類	性 能	厚 さ	備考

(6.8.2)(c)(4) ・ 防滑性床シート

種 類	性 能	厚 さ	備考
ＰＦ	マーブル	2.5mm	

(6.8.2)(e) ・ ゴム床タイル

種 類	厚 さ	備 考

(6.8.3)(a) 工法
下地
・ モルタル下地 ⊙ 木下地
・ その他（ ）

(6.8.3)(b) ビニル床シート張り
熱溶接工法 ・ 適用する ・ 適用しない

11 カーペット敷き ・ 織じゅうたん
(6.9.3)(a)
(表6.9.1)

種別	パイル形状	帯電性	品質の程度
・ A種 ・ B種 ・ C種	・ カットパイル ・ ループパイル ・ カット、ループ併用	・人体帯電圧3KV以下 ・（ ）	・（ ）

品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。（以下同様）

(6.9.3)(b) ・ タフテッドカーペット
(表6.9.2)

パイル形状	パイル長(mm)	帯電性	工法	品質の程度
・ カットパイル ・ ループパイル ・ レベルループパイル、ループ併用		・人体帯電圧3KV以下 ・（ ）	・全面接着工法 ・グリッパー工法	・（ ）

(6.9.3)(c) ・ ニードルパンチカーペット

厚さ(mm)	帯 電 性	備 考
	・ 人体帯電圧3KV以下 ・	

(6.9.3)(d) ・ タイルカーペット
(表6.9.2)

種類	パイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度
	・ カットパイル ・ ループパイル	・500×500 ・（ ）	・6.5 ・（ ）	・（ ）

(6.9.3)(e) 下敷き材 ・ 第2種第2号、厚さ8mm ・（ ）
(6.9.3) 見切り、押え金物 ・適用する（材質、形状等 ・図示（図面番号： ））

(6.9.4)(e)) 敷き方

平 場	・ 市松敷き ・ 模様流し ・（ ）
階段部分	・ 市松敷き ・ 模様流し ・（ ）

9 合成樹脂塗床
(6.10.3)(b)(1) 弾性ウレタン塗床の仕上げ種類、工程
(表6.10.4) ・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ
(6.10.3)(b)(2) エポキシ樹脂塗床の仕上げ種類
(表6.10.4)～ ・ 薄膜流し展べ仕上げ ・ 厚膜流し展べ仕上げ（・平滑 ・防滑）
(表6.10.8) ・ 樹脂モルタル仕上げ（・平滑 ・防滑） ・ 防滑仕上げ

10 フローリング張り ・ モルタル埋込み工法
(6.11.6) フローリングブロック(単位:mm)
(表6.11.6)

樹 種	厚 さ	寸法	備 考
・ なら	12・15	303×303	辺材部分には、防虫処理を行う
・（ ）			

(6.11.4) ・ 釘留め工法
(表6.11.2)

材 料	種 別	樹 種
・ フローリングボード（根太張用）		・なら ・（ ）
・ 複合フローリング（根太張用）	・ A種 ・ B種 ・ C種	

防湿処理 ・図示（図面番号： ）

(6.11.5) ・ 接着工法
(表6.11.3)
(表6.11.5)
(表6.11.6)

材 種		樹 種	厚 さ	大きさ
・ フローリングボード（直張用）		・ なら ・（ ）	１２／１５	
・ フローリングブロック（直張用）				
・ 複合１種フローリング（直張用）	・ A種			
・ 複合２種フローリング（直張用）	・ B種			
・ 複合３種フローリング（直張用）	・ C種			
・ モザイクパーケット（直張用）		・（ ）	・（ ）	・（ ）

緩衝材 ・合成樹脂発泡シート ・図示（図面番号： ）

(6.11.7)(2) 塗装
・ ウレタン樹脂ワニス塗り（１液形、B種）
・ オイルステイン塗りのうえワックス塗り
・ 生地のままワックス塗り
・（ ）

11 畳敷き 種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 （建材畳ＫＴ-Ⅲ）
(6.12.2) ・工事終了後、日焼け防止の養生をすること
(表6.12.1)

⑫ せっこうボード、その他ボード及び合板張り

材 種	種 別		厚さ(mm)
⊙せっこうボード ・硬質せっこうボード	⊙ＧＢ－Ｒ ・ＧＢ－Ｓ ・ＧＢ－ＮＣ ・ＧＢ－Ｒ－Ｈ	壁	・ 9.5(不燃) ・12.5(不燃)
		天井	⊙ 9.5(不燃) ・12.5(不燃)
・化粧せっこうボード	・トラバーチン模様		・9.5(不燃)
	・木目模様		・9.5(準不燃)
・ロックウール化粧吸音板	・普通		・9 （不燃）
	・立体模様		
⊙けい酸カルシウム板	⊙タイプⅡ0.8FK		⊙6 （不燃）
・ラワン合板	・耐水Ｉ種		・12 （設備壁下地）

(6.13.2)
(表6.13.1)

(6.13.2)(h) 遮音シール材
⊙シーリング材 ⊙ ジョイントコンパウンド

(6.13.3)(e)(3) 合板類の張付け
・ A種 ・ B種
(6.13.3)(g)(1) せっこうボードの目地工法
(表6.13.5) ⊙ 継目処理 ・ 突付け ・ 目透し

13 壁紙張り

施 工 箇 所	品質の程度	防火性能
便所壁	ＡＡ級	・不燃 ・準不燃
		・不燃 ・準不燃
		・不燃 ・準不燃

(6.14.2)

⑭ モルタル塗り 既製目地材
・ 使用する（形状 ）
(6.15.3)
(6.15.6) 床の目地 ・図示（図面番号： ）
(6.11.6) 緩衝材 ・図示（図面番号： ）

⑮ タイル張り 伸縮調整目地
位置 ・ 図示（図面番号： ）
(6.16.2)
(6.16.3) タイルの種類

施工箇所	形状寸法	工法	用途による区分	すべり抵抗性	区分 Ⅰ類(磁器)	区分 Ⅱ類(せっ器)	区分 Ⅲ類(陶器)	うわぐすり	役物	耐薬品性	特注色	耐凍害性有無
床	25角	接着剤張			○			○				

(6.16.3)(a)(3) 試験張り ・ 行う ⊙ 行わない
見本焼き ・ 行う ⊙ 行わない
(6.16.5) コンクリート素地面の目荒らし工法 ・行う

16 セルフレベリング材塗り ・ せっこう系 ・ セメント系
塗厚 （ ）mm
(6.17.2)

17 断熱材 断熱材打込み工法
(9.5.2) 種類 ・ A種 ・ B種

種 類	種 別	厚さ（mm）	施工箇所
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム			
・ 押出法ポリスチレンフォーム			
・ 硬質ウレタンフォーム			
・ フェノールフォーム			

(9.5.3) 断熱材現場発泡工法（吹付硬質ウレタンフォーム）

種類	厚さ（mm）	施 工 箇 所
・A種１ ・A種２ ・A種３	・（１５） ・（ ）	⊙窓回り等の断熱材補修部分、ルーフドレン回りの床張下等、部分的に後張りとしなければならない箇所 ・（ ）

⑦ 塗装改修工事

1 材料
(7.1.3)(b) ⊙ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・ 次の箇所を除き防火材料とする。（箇所 ）

② 下地調整
(7.2.1～7.2.7) 既存塗膜の除去範囲（塗り替えでＲＢ種の場合）
(表7.2.1) ～ ・図示（図面番号： ）
(表7.2.7) 種別

下 地	種 別	ひび割れ部の補修
・ 木部	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	
⊙ 鉄鋼面	・ RA種 ⊙ RB種 ・ RC種	
・ 亜鉛めっき鋼面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	
⊙ モルタル、プラスター面	・ RA種 ⊙ RB種 ・ RC種	⊙行う
・ コンクリート、ALCパネル面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・行う
・ コンクリート、押出成形セメント板面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・行う
・ せっこうボード、その他ボード面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	

③ 錆止め塗料塗り 錆止め塗料種別
(7.3.2) ⊙鉄鋼面
(表7.3.1) 屋外 A種
(7.3.3) 屋内 ・ A種 ⊙ B種
(表7.3.3) ～(表7.3.4) ・亜鉛めっき鋼面
・ A種 ・ B種 ・ C種

錆止め塗料塗り種別
鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種
亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種

④ 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) 塗料種別 ・ 1種 ・（ ）
(7.4.2) 種別
(7.4.3～7.4.5)
(表7.4.1)～(表7.4.3)

下 地	種 別
・ 木部	・ A種 ・ B種 ・ C種
⊙ 鉄鋼面	・ A種 ⊙ B種 ・ C種
・ 亜鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種

5 クリヤラッカー塗り(CL) 種別
(7.5.2) 木部 ・ A種 ・ B種
(表7.5.1)

6 フタル酸樹脂エナメル塗り(FE) 種別
(7.6.2)～(7.6.3)

下 地	適 用
・ 木部	(表7.6.1参照)
・ 鉄面及び亜鉛めっき鋼面	(表7.6.1参照)

SUBJECT:	TITLE:	SCALE:	DATE:	DRAWING
依那古小学校 農業集落排水接続工事	特記仕様書 4	A2: NS		A－04

7　アクリル樹脂系非水分散形塗料(NAD)
(7.7.2)
(表7.7.1)

種別
・　A種　・　B種

⑧　耐候性塗料塗り(DP)
(7.8.2)～
(7.8.4)
(表7.8.1)～
(表7.8.3)

上塗り等級
・１級（フッ素系）　・２級（ｼﾘｺﾝ系）　・３級（ｳﾚﾀﾝ系）

下地	種　別
鉄鋼面	・A種　⊙B種　・C種
亜鉛めっき鋼面	・A種　・B種　・C種
コンクリート面及び押出成形セメント板面	・A－１種　・A－２種 ⊙B－１種　・B－２種 ・C－１種　・C－２種

9　つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)
(7.9.2)～(7.9.5)
(表7.9.1)～(表7.9.4)

種別

下地	種　別
コンクリート、モルタル、プラスター、せっこうボード、その他ボード面	・A種　・B種　・C種 しみ止め（　　）
木部（屋内）	・A種　・B種　・C種
鉄鋼面（屋内）	・A種　・B種　・C種
亜鉛めっき鋼面（屋内）	・A種　・B種　・C種

⑩　合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)
(7.10.2)
(表7.10.1)

種別
・　A種　⊙　B種　・　C種
しみ止め　・（　　）

11　合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T)
(7.11.2)
(表7.11.1)～
(表7.11.3)

種別
・　A種　・　B種　・　C種

12　ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)
(7.13.2)
(表7.13.1)

種別
・　A種　・　B種

13　ラッカーエナメル塗り(LE)
(7.13.2)
(表7.13.1)

種別
・　A種　・　B種

14　ｵｲﾙｽﾃｲﾝ塗り(OS)
(7.14.2)

・（表７．１４．１参照）

15　木造保護塗料塗り(WP)
(7.15.2)
(表7.15.1)

種別
・　A種　・　B種

8の1　耐震改修工事　共通事項

（一般事項）
1　適用範囲
(8.1.1)

工事内容
・ 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事
・ 鉄骨ブレースの設置工事
・ 柱補強工事（溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法）
・ 柱補強工事（鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法）
・ 柱補強工事（連続繊維補強工法）
・ 耐震スリット新設工事
・ 免震改修・制震改修工事　・ その他・内部改修に伴う床スラブ補修

(8.1.1)
(8.1.2)

工事種別
・ 施工調査（施工計画調査、施工数量調査、調査のための破壊部分の補修）
・ 撤去工事（設備機器配管及び仕上げの取り壊し、撤去
（下地の一部又は全てを含む）、構造体のはつり）
・ 鉄筋工事
・ あと施工アンカー工事
・ コンクリート工事
・ 鉄骨工事
・ グラウト工事
・ 連続繊維補強工事
・ スリット新設工事
・ 免震改修、制震改修工事

（施工調査）
2　施工計画調査
(1.2.2)
(1.2.4)
(1.3.1)
(1.5.1)

施工計画調査

項　目	内容	記録事項等

3　施工数量調査
(1.5.2)

施工数量調査

項　目	内容	記録事項

8の2　耐震改修工事　撤去工事

（既存部分の撤去等）
1　既存仕上げ等の撤去
(8.19.2)

既存仕上げ等の撤去

(8.20.2)
(8.21.2)
(8.22.2)

撤去の範囲
・ 図示（図面番号：A9～A13、A19～A50　　）
・ 新設のコンクリート、モルタル、グラウト材、鉄骨、
連続繊維に接する部分
・ 既存コンクリート撤去範囲に面する部分
・

(8.19.2)
(8.20.2)
(8.21.2)
(8.22.2)

既存設備機器、配管撤去、新設、移設等処置
本工事の範囲
・ 本工事の範囲として図示された設備機器及び配管、盤類の撤去及び処分
・ 設備機器及び配管、盤類の撤去及び処分は本工事の範囲としない。
・（　　）
撤去範囲　・ 図示（図面番号：　　）

2　既存構造体の撤去
(8.19.2)(8.20.2)
(8.21.2)(8.22.2)

既存構造体の撤去
撤去範囲　・ 図示（図面番号：A9～A13　　）
はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置

(8.19.2)(8.20.2)
(8.21.2)(8.22.2)

既存鉄筋コンクリート内の鉄筋の切断

鉄筋の切断	範　囲	適用
・既存鉄筋は切断せず残す	・図示（図面番号：　　） ・全ての撤去部分 ・（　）　・適用なし	
・コンクリートの撤去範囲の周囲より一定長さを残し切断する	・図示（図面番号：A9～A13） ・全ての撤去部分 ・（　）　・適用なし	
・コンクリート撤去範囲の鉄筋は切断する	・切断せず残す範囲を除く撤去する既存鉄筋コンクリートの範囲 ・（　　）	

はつりだした鉄筋の処置
・鉄筋に損傷を与えないよう適切な養生を施す。
はつりだした鉄骨の処置
・コンクリート等を除去し鉄面を表す。
・　（さび止め）
既存構造体コンクリート面の表層目荒らし
目荒らし範囲
・　既存コンクリートとの打継ぎ面全面
・　既存コンクリートとモルタル又はグラウト材の充填部の接合面
・　図示（図面番号：　A19～A50　　）

目荒らし程度
・　平均深さ5～10mmで最大深さ15mm程度の凹凸を100mm間隔程度で施す
・　図示（図面番号：　　）

（既存部分の処理）
3　既存構造体コンクリートの表層目荒らし
(8.19.3)(8.20.3)
(8.21.3)

8の3　耐震改修工事　鉄筋工事

1　鉄筋
(8.2.1)
(表8.2.1)

材料(表8.2.1)による

種　別	径　(mm)
・SD295A	
・SD345	
・SD390	
・（　　）	

2　溶接金網
(8.2.2)

網目の形状、寸法及び鉄線の径

網目の形状、寸法	鉄線の径(mm)

3　加工
(8.3.2)

90°未満の折曲げの内法直径　・ 図示（図面番号：　　）

4　鉄筋の継手及び定着
(8.3.4)

	径	部位
重ね継手	・　D16以下	
ガス圧接	・　D19以上	

主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ
・ 8.3.4 (c)　(1)　による
・　図示（図面番号：　　）

継手位置
・ 各部配筋参考図による
・ 図示（図面番号：　　）

先組み工法等
・ 柱・梁主筋の継手を同一箇所に設ける

鉄筋の定着長さ
・　(表8.3.4)による
・　図示（図面番号：　　）
帯筋組立の形
・　図示（図面番号：　　）

5　鉄筋のかぶり厚さ及び間隔
(8.3.5)

軽量コンクリートで土に接する部分
・　無し
・　有り　適用箇所（　　）
最小かぶり厚さ（　　）mm

耐久性上不利な部分（塩害を受けるおそれのある部分等）
・　無し
・　有り　適用箇所（　　）
最小かぶり厚さ（　　）mm

6　各部配筋
・　図示（図面番号：A-40）

7　ｶﾞｽ圧接
(8.3.8)

圧接完了後の試験
超音波探傷試験
・行う　・行わない

（現場打ち鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ壁の増設工事及び鉄骨ﾌﾞﾚｰｽの設置工事等）
8　割裂補強筋
(8.19.6)
(8.20.7)

割裂補強筋の適用

種類	材料	材種	径	本数、ピッチ	適用箇所
・ｽﾊﾟｲﾗﾙ筋	・鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ用棒鋼	・R235 ・（　）	・6Φ ・9Φ ・（　）	スパイラルの径(mm) （　　） スパイラルのピッチ(mm) （　　）	・図示(図面番号：　　) ・（　）
	・（　　）	・（　）			
・はしご筋	・鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ用棒鋼(異形鉄筋) ・（　　）	・295A ・（　）	・10 ・（　）	壁内方向筋 （　　） 壁面外方向筋 （　　）	

9　鉄筋の機械式継手及び溶接継手
(8.4.2)
(8.4.3)

・　機械式継手
種類（　　）
工法（　　）
品質の確認方法（　　）
修正方法（　　）
鉄筋相互のあき（　　）mm
鉄筋相互のあき（　　）mm

・　溶接継手
工法（　　）
品質の確認方法（　　）
修正方法（　　）
鉄筋相互のあき（　　）mm
鉄筋相互のあき（　　）mm

・　溶接継手
工法（　フレア溶接　　）
品質の確認方法（　10ｄ以上　　）
修正方法（　再溶接　　）
鉄筋相互のあき（　0　）mm
鉄筋相互のあき（　0　）mm

8の4　耐震改修工事　コンクリート工事

（ｺﾝｸﾘｰﾄ工事一般事項）
1　ｺﾝｸﾘｰﾄの種類及び強度
(8.1.3)(8.1.4)

ｺﾝｸﾘｰﾄの種別
・　Ⅰ種　・Ⅱ種

普通ｺﾝｸﾘｰﾄの設計基準強度

設計基準強度Fc(N/mm²)	適用範囲	気乾単位容積質量	スランプ
・21		・2.3t/m3程度	
・（　　）			

(8.9.1)
(8.9.2)
(表8.9.1)

軽量ｺﾝｸﾘｰﾄの設計基準強度

設計基準強度Fc (N/mm²)	種　別	適用範囲	気乾単位容積質量	所要気乾単位容積質量	スランプ
・21	・1種 ・2種				
・（　　）					

常時土あるいは水に直接接する部分に
・　用いる　・用いない

2　構造体コンクリートの仕上り
(8.1.4)(8.2.6)

合板せき板を用いる場合の打放し仕上げの種別
・　A種　・B種　・　C種

（ｺﾝｸﾘｰﾄ）
3　コンクリートの材料
(8.2.5)
(表8.2.3)

セメントの種類
・普通ポルトランドセメント又は混合セメントのＡ種
・　　（　　）
・高炉セメントＢ種又はフライアッシュセメントＢ種
適用箇所　（　　）

骨材
アルカリシリカ反応性による区分
・　ＡＬ（コンクリート中のアルカリ総量を規制）
・　Ａ（安全と認められる骨材を使用）
なお、ALで規制できない場合は、Aとし、その試験は、施工着手前、工事中１回／６ヶ月かつ産地が変わった場合に信頼できる試験機関で行い、試験に用いる骨材の採取は、請負者立ち会いのもと、試験を行う者が生コン工場のストックヤードから試料を採取して試験を行うこと。

・　特殊な骨材の使用
・　フェロニッケルスラグ細骨材
・　銅スラグ細骨材
・　電気炉酸化スラグ骨材
・　再生骨材Ｈ

4　混和材料
(8.2.5)

・　混和剤
混和剤の種類
・(8.2.5)(d)(1)による
・　図示（図面番号：　　）

・　混和材
混和材の種類・使用方法・使用量
・　(8.2.5)(d)(2)による
・　図示（図面番号：　　）

5　調合管理強度
(8.2.5)
(8.8.3)
(8.10.2)

構造体強度補正値（σ）
・３N/mm2　・６N/mm2・（　　）

6　型枠
(8.2.7)(8.7.8)

材料
・　複合合板（厚さ・　12mm　・（　　））
打増し厚さ
・　図示（図面番号：　　）
スリーブ　・(8.2.7)(f)(2)(ｉ)による
・(8.2.7)(f)(2)(ii)による
・材種（　）規格（　）

7　暑中コンクリート
(8.10.2)
(8.10.3)
(8.10.4)

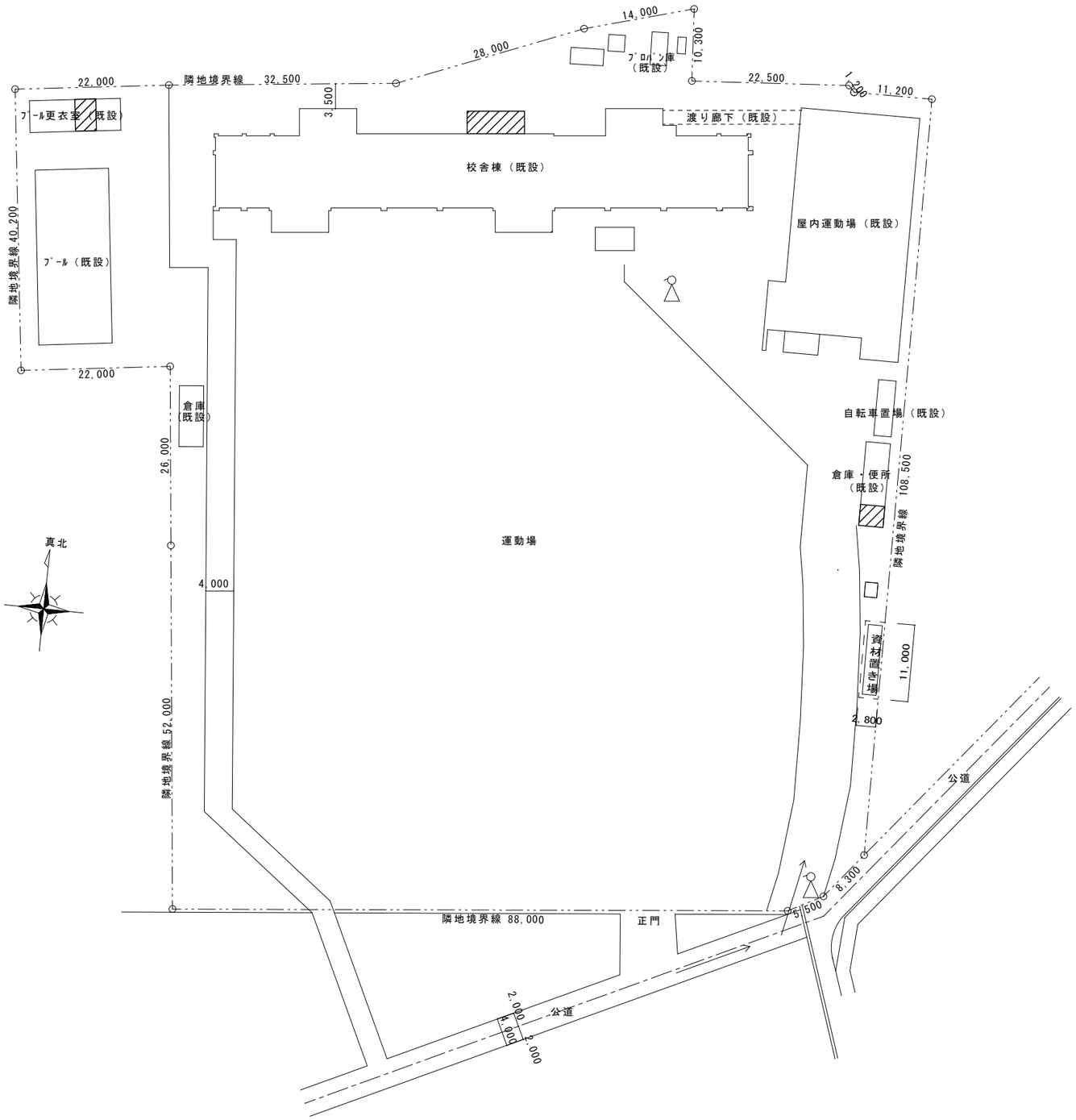
混和材料
・　(8.10.2)(d)による
・　図示（図面番号：　　）
適用箇所（　　）
型枠の存置期間
・　図示（図面番号：　　）

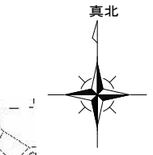
（現場打ち鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ壁の増設工事、溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖ﾌｰﾌﾟ巻き工法）
8　ｺﾝｸﾘｰﾄの打込み工法等
(8.19.8)
(8.21.5)

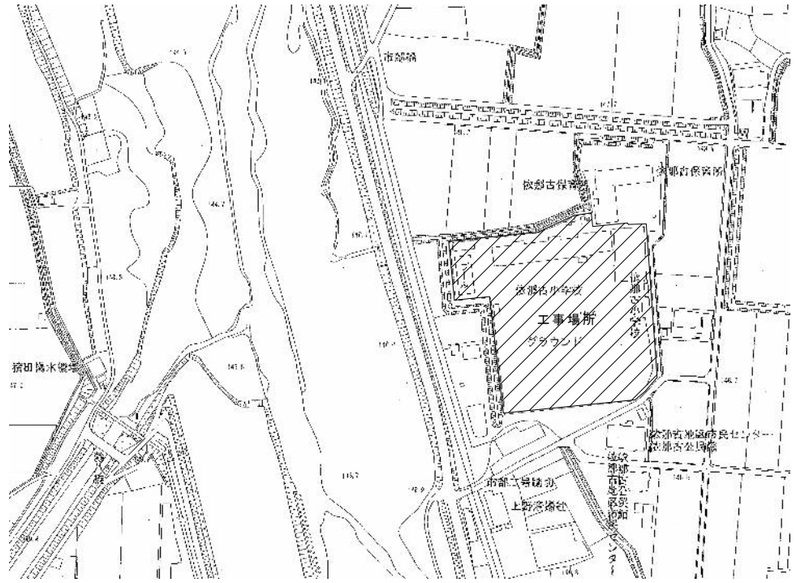
部位別のコンクリートの打設工法の指定

補強工法	打設工法	部位
現場打ち鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ壁の増設工事	・流込み工法(8.19.8)(a)(1)及び(b))	・全ての増設壁 ・図示（図面番号：　） ・（　　）
	・圧入工法 (8.19.8)(a)(2)及び(c))	・全ての増設壁 ・図示（図面番号　） ・（　　）
	・工法指定なし	・全ての増設壁 ・図示（図面番号：　） ・（　　）
	・（　　）	・図示（図面番号：　） ・（　　）
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖ﾌｰﾌﾟ巻き工法	・流込み工法(8.19.8)(a)(1)及び(b)	・全ての増設壁 ・図示（図面番号：　） ・（　　）
	・圧入工法 (8.19.8)(a)(2)及び(c)	・全ての増設壁 ・図示（図面番号：　） ・（　　）
	・工法指定なし	・全ての増設壁 ・図示（図面番号：　） ・（　　）
	・（　　）	・図示（図面番号：　） ・（　　）

SUBJECT:	TITLE:	SCALE:	DATE:	DRAWING
依那古小学校 農業集落排水接続工事	特記仕様書　5	A2：NS		A－05







付近見取図

面積表（ 校舎棟のみ　建設当時の確認申請より 転記）			
床面積	1階	918. 45㎡	（ 277. 83坪）
	2階	704. 15㎡	（ 213. 01坪）
	3階	704. 15㎡	（ 213. 01坪）
	PH階	56. 00㎡	（ 16. 94坪）
延べ面積		2, 382. 75㎡	（ 720. 78坪）
建設面積		980. 46㎡	（ 296. 59坪）

凡例

今回工事を行う棟を示す。

交通整理員立位置を示す。
（ 大型車両進入時、退出時）

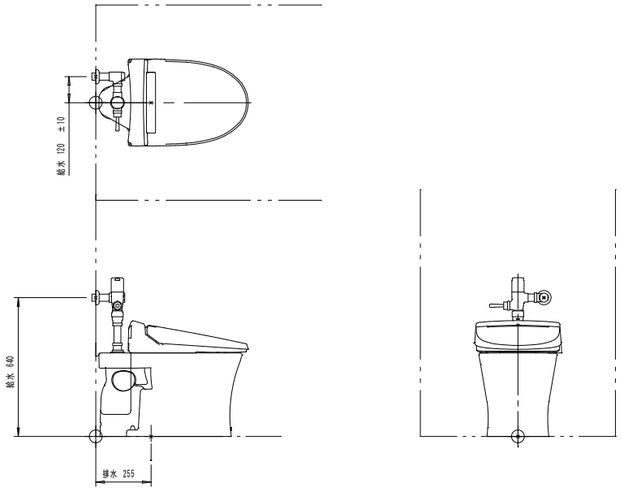
工事車両進入路を示す。

仮囲い（ 成形鋼板）

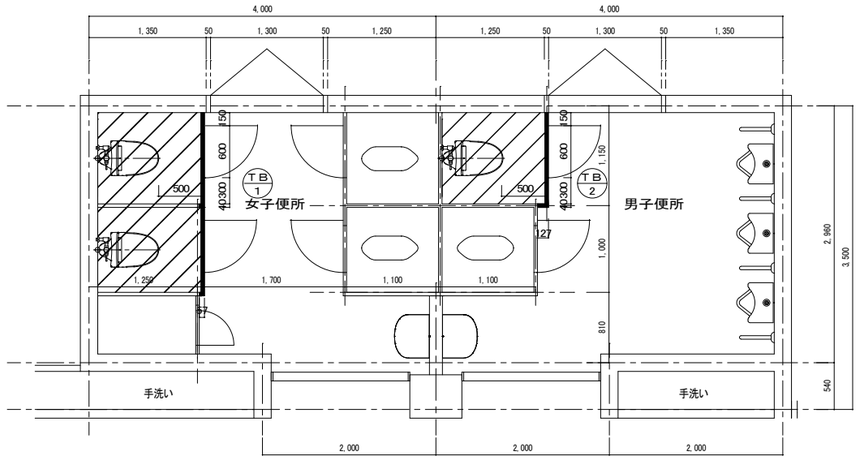
※資材置場の場所は打合せにより決定する事とする。

※長時間搬入車を停車作業を行う場合は、適時A型バリケードを設置すること。

SUBJECT:	TITLE:	SCALE:	DATE:	DRAWING
依那古小学校 農業集落排水接続工事	案内図 配置図 仮設計画図	A2: 1／500 A3: 1／704		A－06



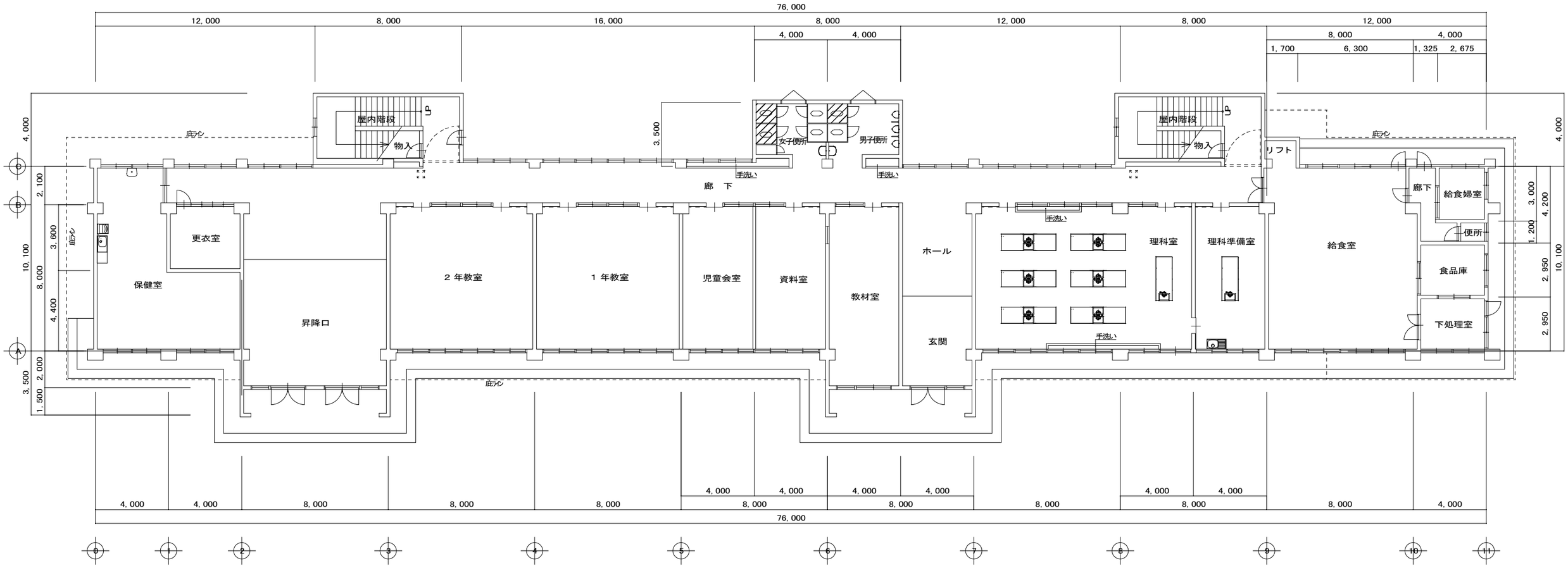
便器詳細図　1/20



改修平面図　1/50

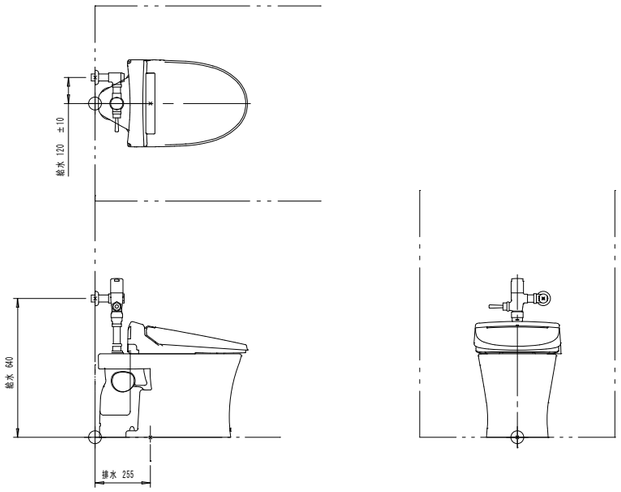
※パーティション変更　■　黒色部分
※男女共1箇所洋式便器に変更　便器：腰掛式サイホン便器
使用便器の種類によるが、前方の空きが400㎜以上必要。

仕上げ
天井：石膏ボード　EP塗り
壁：100角タイル
床：モザイクタイル（25角）

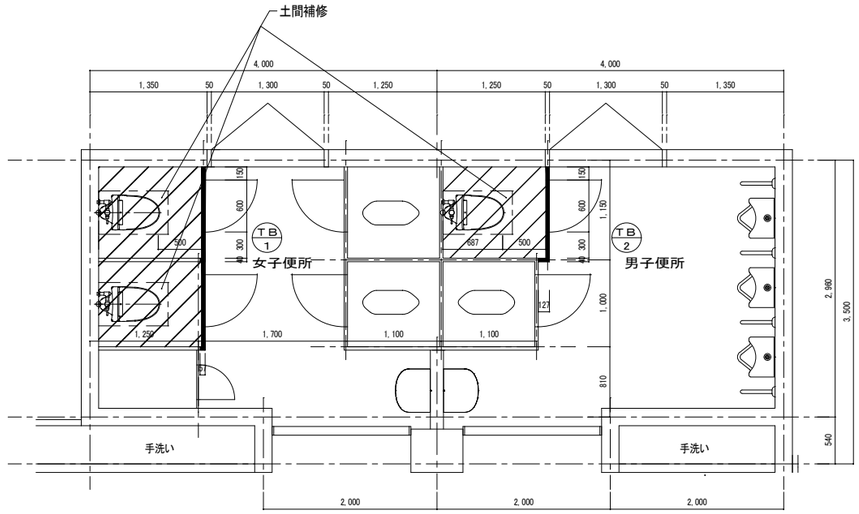


1階平面図　1／150

SUBJECT:	TITLE:	SCALE:	DATE:	DRAWING
依那古小学校 農業集落排水接続工事	1階平面図	A2：1／150 A3：1／212		A－07



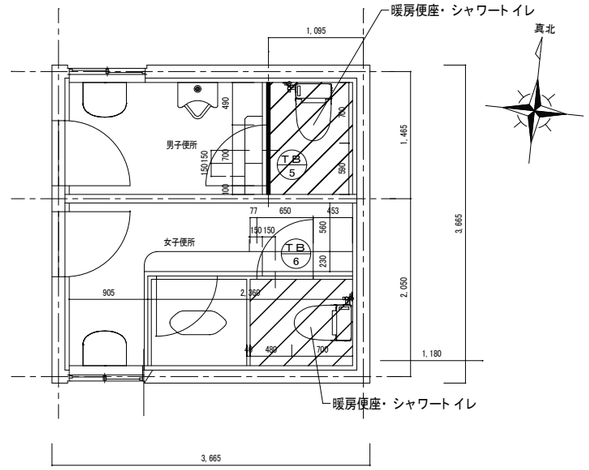
便器詳細図　1/20



改修平面　1/50

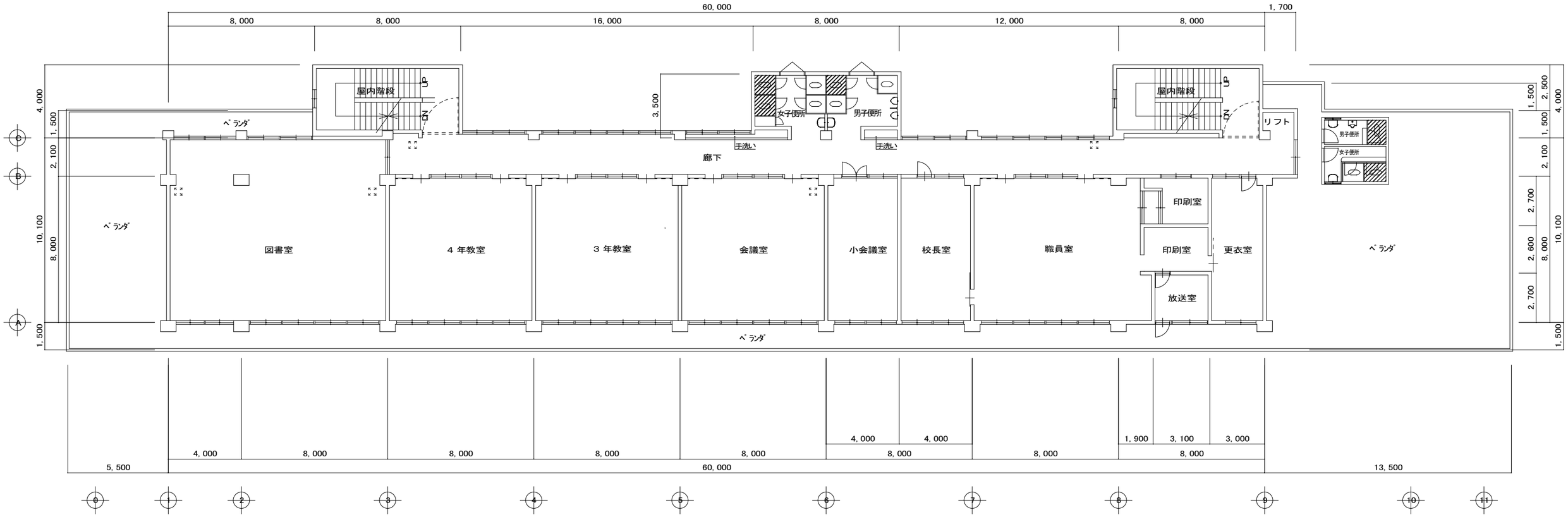
仕上げ
天井: 石膏ボード　EP塗り
壁: 100角タイル
床: モザイクタイル(25角)

※パーティション変更　■　黒色部分
※男女共1箇所洋式便器に変更　便器: 腰掛式サイフォン式
使用便器の種類によるが、前方の空きが400mm以上必要。



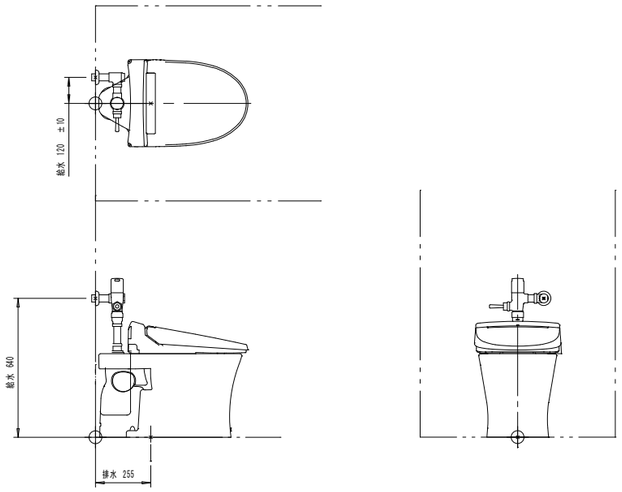
職員便所改修平面　1/50

仕上げ
天井: ジプトーン
壁: モルタル　EP塗り
腰壁: 100角タイル
床: モザイクタイル(50角)

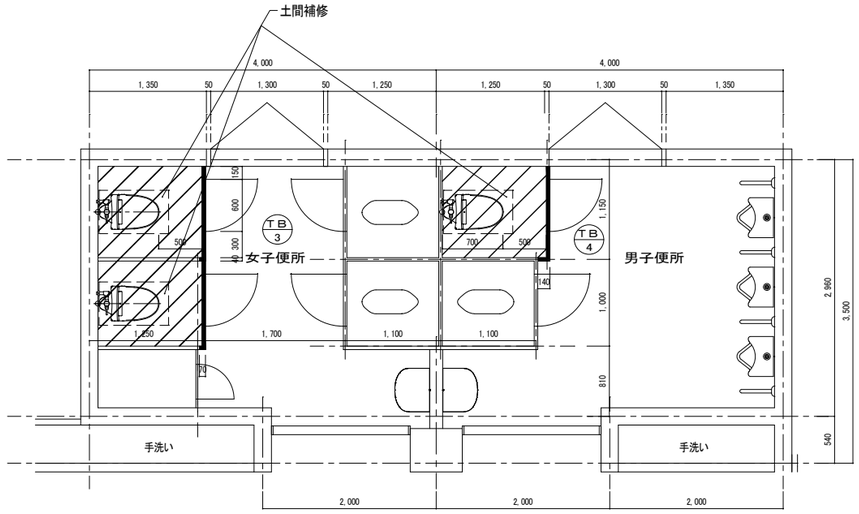


2階平面図　1／150

SUBJECT:	TITLE:	SCALE:	DATE:	DRAWING
依那古小学校 農業集落排水接続工事	2階平面図	A2: 1／150 A3: 1／212		A－08



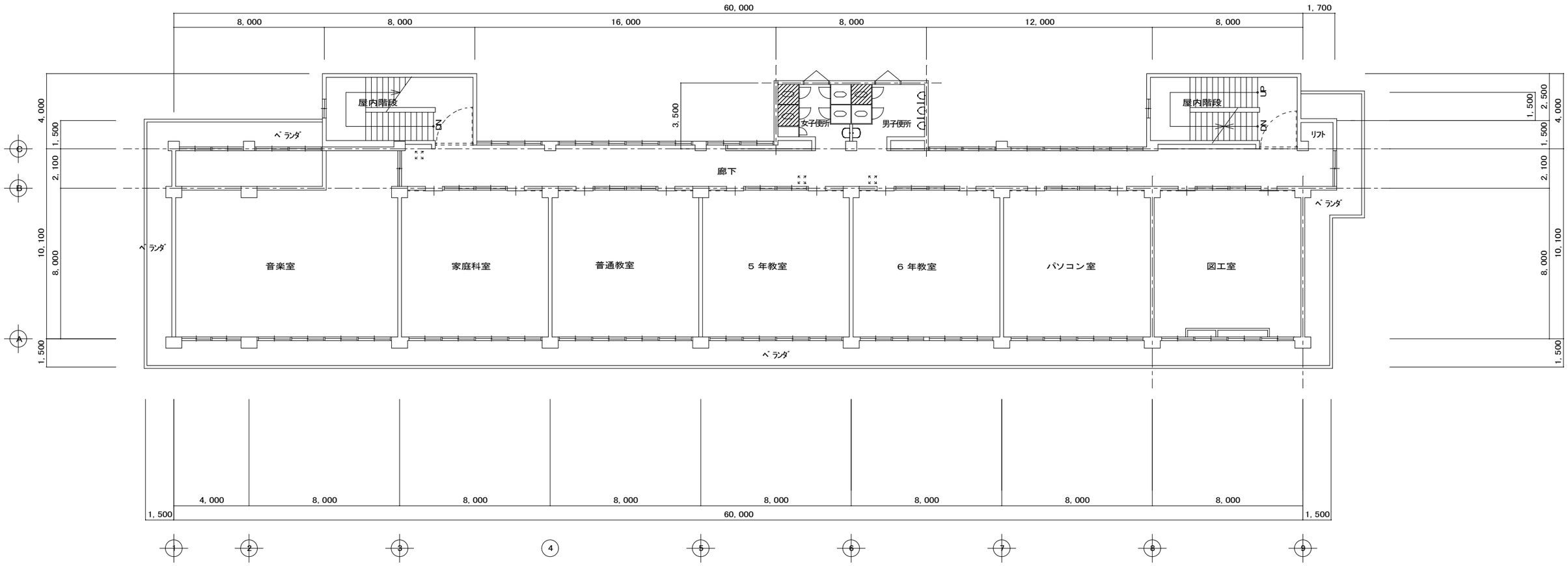
便器詳細図　1/20



改修平面図　1/50

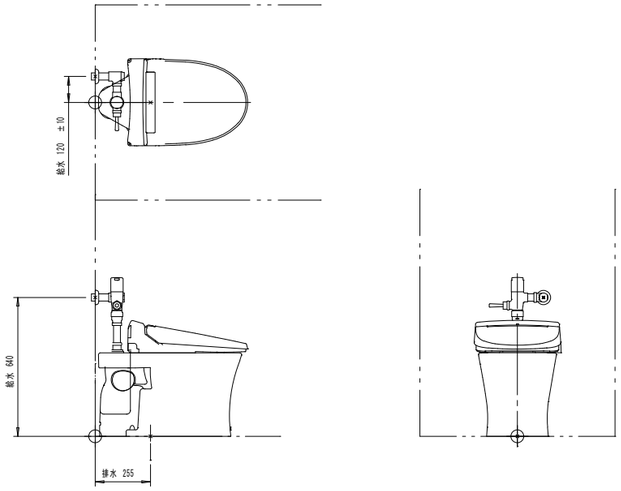
※パーティション変更　■　黒色部分
※男女共1箇所洋式便器に変更
　使用便器の種類によるが、前方の空きが400mm以上必要。

仕上げ
天井: 石膏ボード　EP塗り
壁: 100角タイル
床: モザイクタイル(25角)

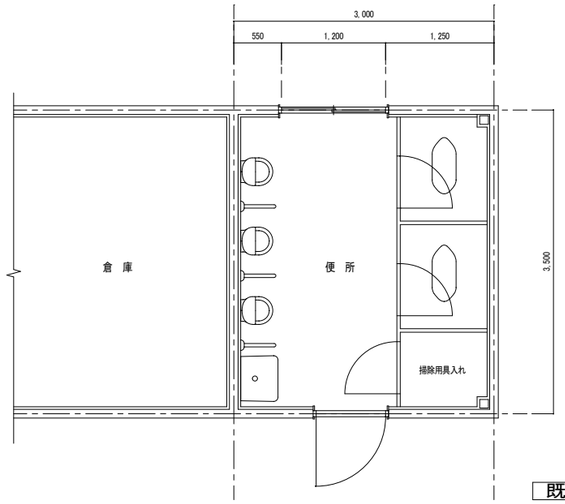


3階平面図　1／150

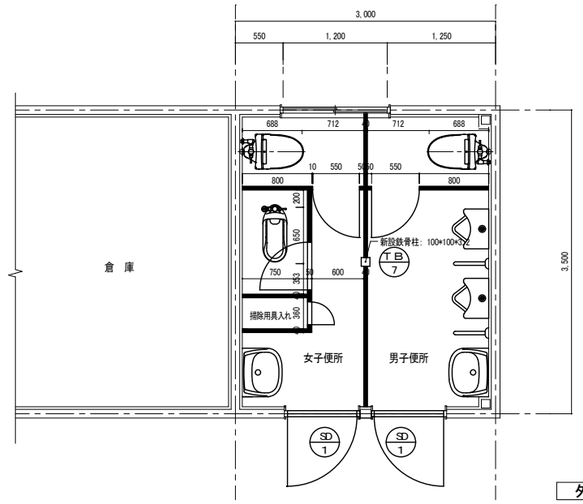
SUBJECT:	TITLE:	SCALE:	DATE:	DRAWING
依那古小学校 農業集落排水接続工事	3階平面図	A2: 1／150 A3: 1／212		A － 9



便器詳細図　1/20

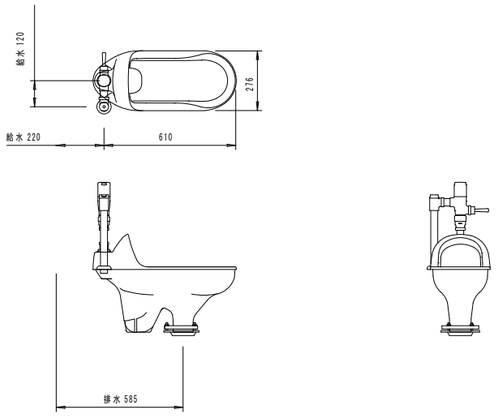


既設外部倉庫内便所　1／50

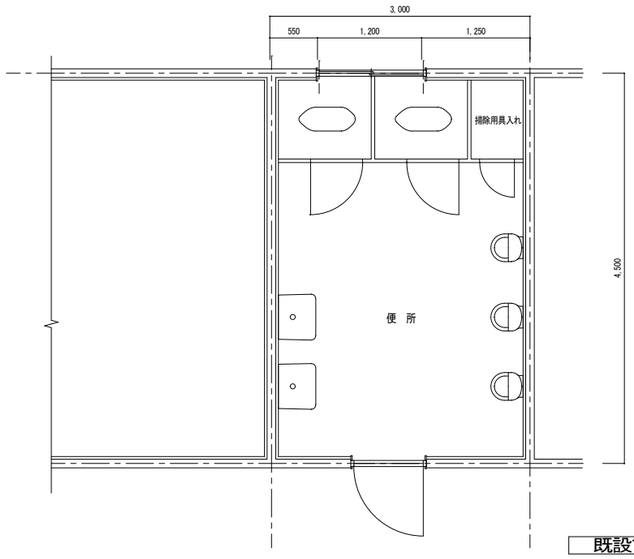


仕上げ
天井: 鉄骨現し　CP
壁: モルタル金鏝　VP
床: モルタル金鏝仕上げ

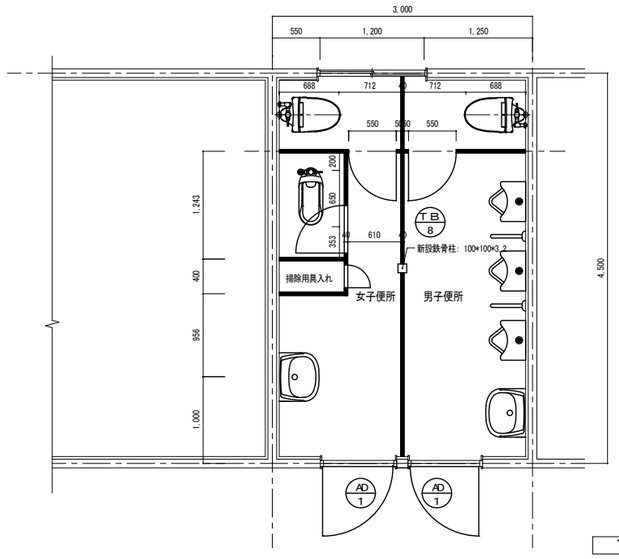
外部倉庫内便所計画　1／50



便器詳細図　1/20



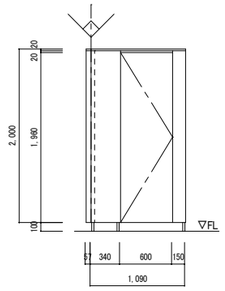
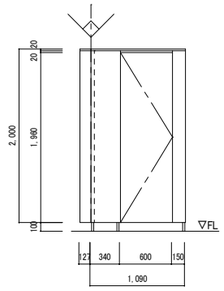
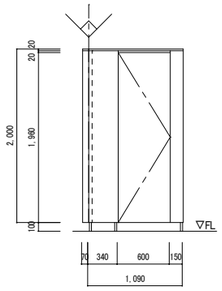
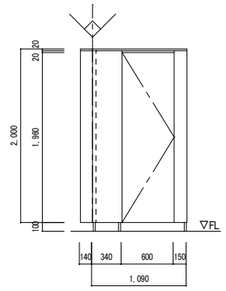
既設プール附属棟便所　1／50

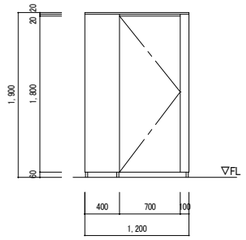
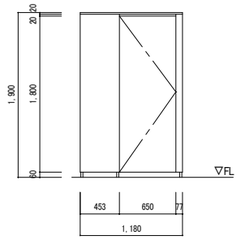
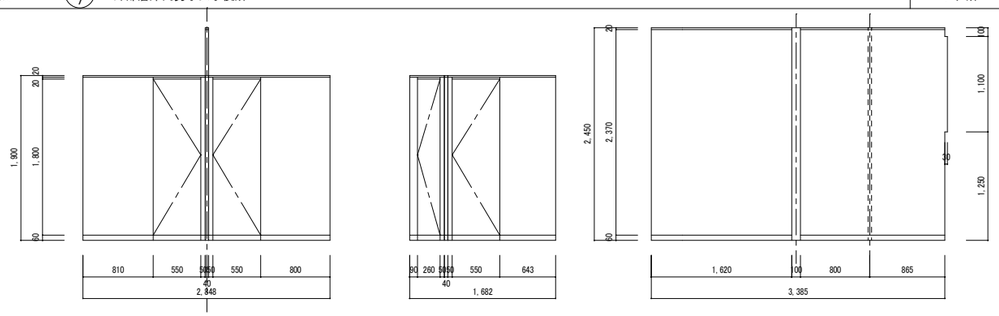


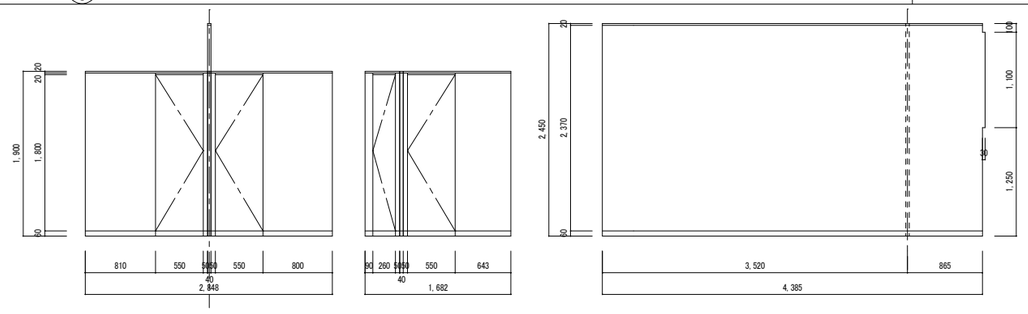
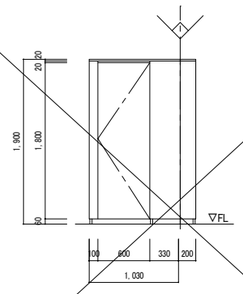
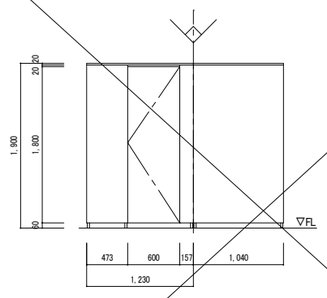
仕上げ
天井: 鉄骨現し　CP
壁: モルタル金鏝　VP
床: モルタル金鏝仕上げ

プール附属棟便所計画　1／50

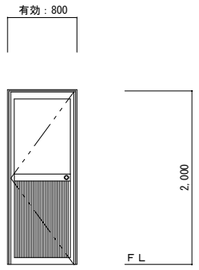
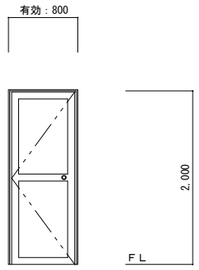
SUBJECT:	TITLE:	SCALE:	DATE:	DRAWING
依那古小学校 農業集落排水接続工事	倉庫内便所平面図 プール棟便所平面図	A2: 1／50 A3: 1／71		A－10

記号．数量	部分補修 TB 1 校舎1.2F女子便所	4ヶ所	部分補修 TB 2 校舎1.2F男子便所	2ヶ所	部分補修 TB 3 校舎3F女子便所	2ヶ所	部分補修 TB 4 校舎3F男子便所	1ヶ所
姿図								
建具	トイレブース		トイレブース		トイレブース		トイレブース	
硝子	――		――		――		――	
備考	メラミン化粧合板		メラミン化粧合板		メラミン化粧合板		メラミン化粧合板	
金物	ラバートリーヒンジ、表示錠付ラッチ錠、ラバートリーストライク 戸当り兼用帽子掛け、SUS巾木、その他付属金物一式		ラバートリーヒンジ、表示錠付ラッチ錠、ラバートリーストライク 戸当り兼用帽子掛け、ＳＵＳ巾木、ＳＵＳ握玉、その他付属金物一式		ラバートリーヒンジ、表示錠付ラッチ錠、ラバートリーストライク 戸当り兼用帽子掛け、SUS巾木、その他付属金物一式		ラバートリーヒンジ、表示錠付ラッチ錠、ラバートリーストライク 戸当り兼用帽子掛け、SUS巾木、その他付属金物一式	
見込	４０		４０		４０		４０	

記号．数量	新設 TB 5 職員用男子便所	1ヶ所	部分補修 TB 6 職員用女子便所	1ヶ所	新設 TB 7 外部倉庫内男子女子便所	1ヶ所
姿図			 ※扉のみ開き吊元変更			
建具	トイレブース		トイレブース		トイレブース	
硝子	――		――		――	
備考	メラミン化粧合板		メラミン化粧合板		メラミン化粧合板	
金物	ラバートリーヒンジ、表示錠付ラッチ錠、ラバートリーストライク 戸当り兼用帽子掛け、SUS巾木、その他付属金物一式		ラバートリーヒンジ、表示錠付ラッチ錠、ラバートリーストライク 戸当り兼用帽子掛け、ＳＵＳ巾木、ＳＵＳ握玉、その他付属金物一式		ラバートリーヒンジ、表示錠付ラッチ錠、ラバートリーストライク 戸当り兼用帽子掛け、ＳＵＳ巾木、ＳＵＳ握玉、その他付属金物一式	
見込	４０		４０		４０	

記号．数量	新設 TB 8 プール附属棟便所	1ヶ所	部分補修 TB 9 体育館女子便所	1ヶ所	新設 TB 10 体育館男子便所	1ヶ所
姿図						
建具	トイレブース		トイレブース		トイレブース	
硝子	――		――		――	
備考	メラミン化粧合板		メラミン化粧合板		メラミン化粧合板	
金物	ラバートリーヒンジ、表示錠付ラッチ錠、ラバートリーストライク 戸当り兼用帽子掛け、ＳＵＳ巾木、ＳＵＳ握玉、その他付属金物一式		ラバートリーヒンジ、表示錠付ラッチ錠、ラバートリーストライク 戸当り兼用帽子掛け、ＳＵＳ巾木、ＳＵＳ握玉、その他付属金物一式		ラバートリーヒンジ、表示錠付ラッチ錠、ラバートリーストライク 戸当り兼用帽子掛け、ＳＵＳ巾木、ＳＵＳ握玉、その他付属金物一式	
見込	４０		４０		４０	

SUBJECT:	TITLE:	SCALE:	DATE:	DRAWING
依那古小学校 農業集落排水接続工事	新設建具表	A2：1／50 A3：1／71		A－１１

記号．数量	新設 AD 1 プール棟便所	2ヶ所	新設 SD 2 屋外倉庫便所	2ヶ所		
姿図	 女子便所・男子便所		 女子便所・男子便所			
建具	アルミ片開き框ドア		スチール片開き框ドア			
硝子	上：型(網入り)　厚6.8　　下：アルミリブパネル　厚3		上：型(網入り)　厚6.8　　下：鉄板　厚3			
備考						
金物	丁番、握り玉（シリンダー錠）ーーーーー付属金物一式		丁番、握り玉（シリンダー錠）、ドアクローザーーーーー付属金物一式			
見込	７０		７０			

記号．数量			
姿図			
建具			
硝子			
備考			
金物			
見込			

記号．数量			
姿図			
建具			
硝子			
備考			
金物			
見込			

SUBJECT:	TITLE:	SCALE:	DATE:	DRAWING:
依那古小学校 農業集落排水接続工事	新設建具表	A2：1／50 A3：1／71		A－１２